スないかかり 北京都下著信はなとうまくのあ以十里 あるて、光遠南人像市場体五十支の日午 ははなるとうて中の町 深らるはなる いれるからはまちゃくれ

らならいてはなのから /進行周期來了京

するのはまずのガーン いまっていりほとは 次ゆうかでいかん STATE OF THE PERSON OF THE PER

年代をはる日子行さいを変え ちるいい 3 でいるしというなの

所付える金属でから来ないを有は、強な里で 成榜まうを川をおうてはしまのは出るう 在中与海牙多りでを食は風いにしる町 島は、そで中の到る中な過七里七日午ぬ

限了高者とよ城り者清供の定大祭社 砂塩、比東等透のる七里十日先時過去於生日 倉川ときを口用ななの町もてははすって 中的教司小作行うの過去里太日子時下

ちょうながれるというとはんなのでなってはいるはないあとうとうころにあったるはない 老本老年若不完全,這一次去我一分

と田のか一はうまとはまってやっちっとをを 中かりろうてきのけばいかってけなる そうかないんずくけてきる大大大 小宮井の月このとが一者人の様をはい 日下は一日のかんはいいですいまるかあけっ

一院総裁立を使者ないが、行動の内氏しく 果たとそろの家をあいをすて門教からと

元六分等北公教本生主 の言いてきりりまかい、年の本者のはは 作うな城寺込む、多例一及品例ときりだ 味っぱっとんないなからな

之公在處後者之事 多里京川八月前 自意及於打造 随難日外等改

三君不,信臣聖寺

香えなうな様のになるようとものきっている

おいってもというなるのかけるりとなるし

町立ておすに統一と数かると考ふり記取者

小田子ではましたお大連を正のる八里 若行一进八家一百年四三治 与清美写前 中的利伊里周三古小女奶田歌子江南花 放揮小分世中心造八里者に日子は成澤下門子 明治松小中に村里も一面は依ちのですのか 可行政内島の田田香

九月三日子の中以上京政にも少て、内村家 は国の情義をかり 一意代化し間かりこと 機震のこく重しなのとかけられかそ けたとこれのであるといっというへんのはい 幻茶する内はかいついるとかりて意味 外俗小家子所等不清人等一處と使て のいるながましれてきむとうへん

百進工其外人為九門版進工去了三百分子 于杨斌对三五十二日借軍一名思不一人以 からいのとうのかれた 法国のたかなるとうとうと、まていは選出 和随魔 我是是多年也是是我们可以接近一种 五人丁城子高兴历泰子高坡海影

ないかまののまればいないというかられていた

いるというできまする

あいの言いとなることでのはそうない 公此一年四年 佛知為母君就官等意該 丁人九日十日十日は下り運事ちの子仙川 らくとありてけるるもの数をあれるあるから けると、対は、近八里すたのか付はないとが ある在後のきい七紀を来ることがる いするいまではあの町 本風などあべってたは 死でかり、そと云町色修復成治るの様の妻 可名花信不行住不一中門福田下子中八件名 治をすることははそうよのはあるになると 京将のこの日の日本日本で日本福州市でよる城域は安

沙里面山西京村官二季多京小里至大 至四月年五年之中将此死七年行名 教人 人自清人と一つまり一種以及て大行行 乃德衛於之後一里也四日於何以流下至今 打下下級 事件公然名德用语句 かんな いるかのとはまるして 府有可以所做に重馬を行うな道がめ、力里 はなるとましてあるめてり 私事何格治い おままするはるからまってくいのけるまち アモデオなんにかなうるかであるのないあのは うしるとはのは深度でしるのけぬありねの到下 ける大利丁やいると選出とは見 かいれているとうとなる!一であっまりるか

一里干行了我城也就了最五十八十二八十十 京後有は 四世里古人以子内意計 と多 高いると成し中利かりとうるいます はこまは成年ときなるのは福寺のからある

主山秋内すての大塚のいる宝米科のあっ このとうないというなあるとしと類となる上 かいましては多くなるであるできせるなっと 編進者仍治民保惟一代養後百十分八村 するななーりのほうてははのまたする 住在に有手等等でも一次の選回を持ている 一日己日とあなからる後には様うて中間

報道の清進工了中心省名をなけれる人人同一

できれのそらろ様にはなるでといけらんと ちの名言のんではまかりなり見風の私はい 心等ラ行命一化中至風外間のするだっ ますしかけ都 不知に自己はあるあのの あいとはち様のはいうさいるとる 間方言の日本はあれる一次の一大地田湯 時候多う一切ではつき利方様に持ちるが はなしてはおきるとうとなけるをした からうちゃんする 法選者級面部であ おんけいちゃんではけ 生の後述之終人の今、古天華、西の歌 人人ろうしていっているからずのでは

偏級の粉山気子里二きなはかとめてまける湯 本今年後のあるながはは低不同うしの 去少官司与在了的一古人中則要以軍官 かんかん かん

そからなるなんな様ない用語の運用の行の 幸福軍用小司者にあて佐の事かれるこ 金德一日本里三日本日本日本 かて言はかひろんな七里十日五ばかり 直動である方は限しない里の事件後の 申問のましりに付七事にいれるはかますりとか 三分世日上田里西京南西白 行治

正母祭者でいる面で必行後既終了成時か 書信斗地治少女要你也也多一定 東京将でおんでは、清を使うし田丁三五 小海、三下八切り以家里大九五十五月七五 要用とはますい時井林大衛大阪 衛生不通外去一大力多日者是衛一丁 一一野食は下風少なれ、変るの到風場で 通知なて東王様のかくううまかて傷をする "司等通力其上面~~公室打松 を何か 三里外唐でかるかん 夫翁 成小品的名数艺目 父本金者にのまある様公司 かちの意はは

不與者後也製甲沙汉七百一者在在京 不可容法族到 仍東如西我越用英国门边 風な一個文代法有法 宋五計 路延今一看公天的海外人致法 門選洋河田水河各門看 日福放東では湯

吳玉衛 顾公 体天罪奉統·首賴以其法法成用 藏道日賦 其来傷 為政政於不言以光 是五年 五年 五五日 成本 知具得得 古佛在言代於此派逐係作艺学 山山下午前公司也からは、東公安八の元便行南 老情在後各位

展之來尚而本京上南德八祥侍者,三前任

大衛等使以小時

不日次者及近極

而具南德江南城一丁

以奉之版八

〇追欲是面出路緣 口偏坐奏起指多孫 方要來如果偶等件係東班京 軍 以极至正是命司在老太公大禅师之就修下了 職前職業仍遵原 **持山兴的又何回**

なるかなみをあっているのかもて人の 大里十九日日日午銀下の下本を思るとか ではなるものでははなるつうて食は 支の用きるとなって日本の日本はないといれて 手にりをかりか て書田午頭山ます 根語が見近了二里同公司問祖後であている

中國養活了所有多國內里華四年利人 至与来間1月日 尚書りて着る事は次 ろうくこをなする三月古数多、米 要表すごないからるななに周ましてはいか 领奪联府衛桃花一代者王帝报五千 松見一枝小浴をあて 清隆上ある

常者之去異なる民の名を上南して祖父家 赤衣をして松川、から大幅くを年の 素を大きのれどの影響を変形改立 聖者今日以行飲 公南天日秋一成也京

前沒在作上操作以前無比 赴一個と日やことのひろううるのとき 所件で考する政主教主格を相用 さんかいはしまするななをはののできるはないか 一多本の生活られると大作しの

公司去於海蘇新聖帝一聲 石於門 七寒我都在天原那城二編石界府本 而死三面不告中山高年爱者非六日 黃化子同此王者 或在祭三因王尾者 者 白或者得氣義路國其直於唐之不亦食 脫五看得都提信例到備者得孔明治國 治國德王者得伊产治國高京者得得提出 依以唐克者得而不治国 展舞者操并 拘

七人後の海ととはして月子古中内松前の門 此上後一をとる いんかあったいんとはなっては 三歲通田高護馬 了全在落門门 り返るの中谁ん (るののできる 一省居信逐山

- CASAL

幸いかだ信奉の人とをありないのののという なんないあるののあるかとあれていると するないないかであったり Not only

時意志教徳田は東北上海供の上不多な 枝木と名数ける国は水の花とはき町の

ゆうるは、いるかしん大きではなったって お来の後に伊田老を方明こ からいますり、本月十八日間を丁有一個関係的

一方者的一中心等一个全部在公人家 花林門如了多月本一 無思過一日日 一名本治一姓教治一村茂在正原

八年 横山縣是一個人多三回以中境下皇 古佛真然此合為祖母等因我們回路各生行 仍以如何食事二年五月十八年日前 なおしゅんのころはなってんへうかのなか 在人不改多とめか、何以及れい 三年 中实在月十日門門 思思的并行法 後のなかしますでなけばなかで、まま からないなり なべるはなのあると 今天在二年1日上与神 大王は

一多路一唐年十二十一年至三天以一般祖 恐死的好完者多如此、子川伊口流古書語 紀伊寺南美任四枝美山人多林山 三面故事以外事实九月十日京往家社 見原一を後年三十二十二年二十二十五年 なるなな方はとうる年一段初知的な

教伯天将書玩好清文多者

信被诸武多事事報を行る用の故不 松丁本のあるからは時心となる相談の 以沒者沒信飲証料人方施子以表於言言 方言政治子降了行及後,機也以夢以至此時 務節人はあけるのは 行 時間其下 治病傷を

かななしちでとればらり あゆく後く後具の変水数者よく当まるた 行汉丁等市人歌 事、大、者其列州先五万 吊衛代志利緒語汉端校七個智 為軍馬 月後寄見於黄田立を水止養御し思記 ちる王就の家家人公司门名同思常座

次子传光上程情以多了奉与 るて言水をみて了大月中午南年 門列 留傷へはおちくる果みはよううちき 所務相等人所後からなるなは、デー

学園、山で上りって、客人様以内名様はない 我和前國王王子、传名を以首奏者がした 可相选行下中一處,也年後以中田位之成 梅花し枝自然古母所引て財者し京城市 歌而 天得實在移落人

大門不好力名思の原要人心を強烈 かってしてからまの同るはくなる

が在見をはまりす

連考一言《楊海門內居小在於京門 なしる依旧主経む七百四人性をは経過 万後後し宝春布し内全息公思思古

有ををうか出了」とはあるは大海路の京

七食後間の礼到の根をある、春む一人 行権は、相ないのうこけらくまといるので 考以後了,年本月十九十者を打ちかる

不かいするはらいを等とからかったたんの ますでするなにからよ あっとなったは あってあるます のかとうるのしころとの 湯数 さまいるのでしのを動いてした

主要行政に行き者の海とあるとは次の日標 増くをなるとすらうませる日本の利 かなねにずでもろともこともはは伝教者の 衛行のれのあるとて在神かにかりしなどま 出海大のようになってある 日本の とぞているからくその右のするにもっ ころうろろなははは日から 村内は 光公司六八成と行為後でえてた いっている様はいてているかったと言う

うと所での白茶はける近のとに生を るころいりというはあいいのなるるまでは

うけなる人の皆ろう父子を除すり 虚は東京からける地方です月二日本海流 古日中の日上门に清母五見ずか同山门と かっての風はあるるような残る 一次なな性に 学のできてるなけるやすからのとのなる

教堂於古汗述了故意力是何许明問了

中からあらなっとのです。その一、多のか 治療を成一般なる治療成に如審強 政公先院海等之人門有一件送馬各於公司司司 去打砂台の後ろけるはなり至本が行人送い あるのではなるのでは、からないとはなる ことか 進にがずると明をいかけりるは成のけん 年1日の知者仍奉けり四日日日日日日以入公 さとして本だ板がこての私の人 いなのあて うにはそれあるみのはる



の見機にようころでありる者とこれですからのは 1のころとなって 1000の日本の からうはいないとう 一を横のから 書いるして山西 人の一下とるながれる 五月下旬を返する」よる文人語、他了かん

おえかずうこと信答とうなけれて風太陽

おおおいるとちを代集成既七風不行 ある問籍の法人同子教礼明中子子 親而一在江南的城及名居一名正二本 京南北一年 しか知及すべ名思考を問日 遇行之刑 路法回代一名副當學在此下 用語が見る確性るるなな意味で見から行は 易花なる三十分通信を打成す 五龍學後海或像代四動國之五

五は一てははなや 熟之二流し、イカウ梅の日代的でなる 其物町,雖即丁葵花作為難城府皆人心故 母本意得人權以言呼子問人自知其他



